

ふるさと上越 ネットワーク たより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局
〒150-0011 東京都渋谷区東 1-26-30 渋谷イーストビル 2階
TEL.03-5467-7472 FAX.03-5467-7473
E-mail: jnet_tokyo@albatros.co.jp

■本庁担当：上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課
〒943-8601 新潟県上越市木田 1-1-3
TEL.025-526-5111 (内線 1406) FAX.025-526-6114
E-mail: j-net@cityjoetsu.lg.jp

3. 第32回 J ネット勉強会報告

—「前島密翁墓前祭」参加と称名寺・横浜中華街散策—

今回の勉強会は、平成 28 年 4 月 23 日(土)に行われ、参加会員は 5 名でした。当日は晴れて暑かったうえ全行程 17,000 歩強に、少々疲れました。

「前島密翁墓前祭」参加

墓前祭参加は 3 年連続で、J ネット勉強会としては 4 回目となりました。

上越市からは、郵便局関係者、前島記念館館長、前島密翁を顕彰する会会員、上越市長(代理)等 28 名が参加しました。参加者には、前島密業績絵画と参加者名簿が配られましたが、私達は、式が始まる前に翁の墓前にてお参りと記念撮影。

式は例年どおり浄楽寺境内で行われ、主催者や関係者、横須賀市長、前島密翁を顕彰する会会長等の挨拶などの後、参加者多数のため 4 回に分けて記念撮影。写真は、上越市からの参加者+J ネット勉強会参加者からなる最初のグループ。

この記念撮影後、バスで浄楽寺前から横須賀市民病院へ。ここでバスを乗り換えて京急線三崎口駅へ。この日、三浦半島西海岸のほとんどもバスで通りました。

「称名寺」見学

寺は、鎌倉時代に北条実時が建立したとされる金沢北条氏の菩提寺で、横浜市のボランティアNPO職員が、北条氏の歴史を含めて丁寧な説明と案内をしてくれた。

仁王門は 1818 年に建立され、現在も当時のまま。仁王像は木製で関東最大の背丈 4m。本堂前の阿字池を中心とした浄土式庭園が見事で、同池に架かった太鼓橋は反橋(そりばし)と言われ若い時の苦労の跡、平らになった平橋は晩年を平穩に過ごすこと、反橋と平橋を繋ぐ中ノ島は現在を意味するのだとのことでした。

歌川広重が描いた金沢八景のひとつ「称名晩鐘」は、この寺の鐘楼で現在も当時のまま。境内にある山のトンネルをくぐると、北条氏が収蔵した文書類を納めた「県立金沢文庫」がある。明治時代に建てられた時には、長岡市出身で博文社(出版社)等多くの会社を創設した大橋新太郎が、金は出すが口は出さないとして建設費 10 万円のうち 5 万円を出資したこと等、HP には出ていないことの多い説明に感心しきり。

「横浜中華街」散策

中華街のシンボリック存在の関帝廟や航海安全の女神を祭る横濱媽祖廟などの見学と散策。街は、人通りが多く今日も賑やかでした。ここでの打上げを楽しみにしていたので、昼食は三崎口駅構内の店で軽く済ませていたのです。打上げは、村椿さんが毎年使うという関帝廟近くのお店で。料理よし、紹興酒よし、料金もリーズナブルでした。

(記/藤沢 勝一郎)

